

Color Contrasts:
Japanese Craft and
European Art



彩 × Color

— 和と洋の色くらべ —

2025年 2月22日(土) ~ 4月20日(日)

休館日：月曜日(休日の場合はその直後の平日)



主催 / 金沢市立中村記念美術館
後援 / 北國新聞社 テレビ金沢 MRO北陸放送 HAB北陸朝日放送 石川テレビ



茶道具と工芸の美術館
金沢市立中村記念美術館
KANAZAWA NAKAMURA MEMORIAL MUSEUM

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号 TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
開館時間 / 9時30分~17時 (受付は16時30分まで)
観覧料金 / 一般310円 団体(20名以上)260円 65歳以上210円 高校生以下無料



小松芳光《漆パネル「サポテンと蝶」》
昭和時代 20世紀



《色絵瑠璃瓢形徳利》
古九谷様式 江戸時代17世紀



《色絵山水図丸紋平鉢》
古九谷様式 江戸時代17世紀



二木成抱《石橋時絵大盃・盃台》のうち大盃
大正～昭和時代20世紀



《蓋付ボウル（チュリーン）》マイセン
1765～70年頃
(金沢美術工芸大学所蔵)



初代 徳田八十吉
《色絵芭蕉図花入》
1905～1916年頃



大場松魚《光彩花器》1989年(金沢卯辰山山芸工房所蔵)

当館が所蔵するマルク・シャガールの「エルサレム・ウィンドウ」は、イスラエルの都市エルサレムの礼拝堂を飾るステンドグラスの絵柄をもとに制作されたリトグラフ(石版画)作品です。この作品で、シャガールは『旧約聖書』のヤコブの12人の息子達を祖とする12部族を動物や器物で象徴して描き出し、さらに赤・黄・緑・青・紫などの溢れんばかりの色彩を加えています。

色彩といえば、日本の工芸作品にも非常に多くの色彩が用いられ、その素材や技法によって色彩のもたらす表現はとても多岐にわたっています。たとえば漆工芸があらわす漆黒や蒔絵の落ち着いた金色、陶磁器にみられる伝統的な九谷焼の五彩、染織作品が描き出す明快でやわらかな色彩など、日本と西洋では同じ色彩であっても、それぞれの風土や文化が醸し出す異なる魅力があるのではないのでしょうか。

本展覧会では、「色彩」をテーマに、シャガールの「エルサレム・ウィンドウ」をはじめとする西洋の美術作品と日本の工芸作品を対比して展示することで、西洋と日本の色の競演を楽しんでいただきたいと思ひます。

表面作品(左上から右回りに)：

マルク・シャガール《エルサレム・ウィンドウ ザブロン族》1964年、赤地友哉《曲輪造毬形朱喰籠》1984年、《エルサレム・ウィンドウ ネブタリ族》1964年、米田孫六《郭子儀近江八景時絵硯箱》江戸・明治時代19世紀、《エルサレム・ウィンドウ アシュール族》1964年、十代大樋長左衛門(陶治斎)《指絵・金彩「双馬行萬里」》2013年、《エルサレム・ウィンドウ ベンジャミン族》1964年、木村雨山《染額「花鳥」》昭和時代20世紀



金沢ミュージアム+

金沢市の多彩なコレクションは「金沢ミュージアム+」でご覧いただけます



開館時間：9時30分～17時(受付は16時30分まで)

観覧料金：一般310円/団体(20名以上)260円/65歳以上210円/高校生以下無料

【交通】(駐車場20台有り)

- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から18系統「東部車庫行」「金沢学院大学行」で「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢駅兼六園口(東口)バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢ふらっとバス(菊川ルート)で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分

【会期中のイベント】

ギャラリートーク

学芸員が展覧会の見どころを解説します。

開催日：3月7日(金)、8日(土)、4月11日(金)、12日(土)
開催時間：14:00～15:00
費用：観覧料金

「生菓子の日」のお知らせ

館内喫茶室にて季節の生菓子と抹茶のセットをお召しあがりいただけます。数量限定につき、無くなり次第終了します。生菓子の終了後は通常の抹茶セット(350円)をお楽しみいただけます。

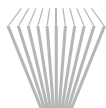
提供日：3月8日(土)、9日(日)、4月12日(土)、13日(日)
利用時間：10:00～16:30
料金：600円

春の茶会

旧中村邸2階を会場に、美術館の収蔵品を一部使用する茶会です。学芸員が道具の解説を行います。

開催日：3月20日(木祝) 全7席(時間指定)
開催時間：受付開始9:45～
1席：10:00～、2席：10:50～、3席：11:40～、
4席：12:30～、5席：13:20～、6席：14:10～、
7席：15:00～

料金：1,200円(当日の美術館観覧料含む)
定員：各席35名
主管：表千家同門会石川県支部
申込方法：電話(076-221-0751)または受付にて



茶道具と工芸の美術館

金沢市立中村記念美術館

KANAZAWA NAKAMURA MEMORIAL MUSEUM

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号
TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/

